

第二主日イースター礼拝

【第一部】 午前 9:00-10:00
 【第二部】 午前 11:00-12:00
 (第二部は YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 22 篇 23-24 節 (旧約 953)

賛 美 墓の中にいと低く (インマヌエル 437)

交 読 詩篇 108 篇 1-13 節 (旧約 1050)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 ヨハネの福音書 20 章 1-18 節 (新約 227)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『石は取り除かれて』

松井元始牧師

応答のとき

賛 美 よみがえりたり (インマヌエル 439)

感謝祈祷

頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 祷

後奏・黙祷

* * *

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈祷〉

【第1部】

【第2部】 明兄 牧子師 司会者

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会 牧師: 松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>E-mail: immanuelojichurch@gmail.com

銀行振込: みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『石は取り除かれて』 (ヨハネの福音書 20 章 1-18 節) 2023.4.9.

<はじめに> イエスが十字架で死なれて 3 日目の早朝、驚きの事実がここに記されています。

I 墓へ駆けつける(1-10)

① 石が取り除けられて(1-2)

イエスの葬りは安息日が迫る夕刻に慌ただしく行われました。いろいろと不備や心残りもあつたでしょう。その補いをしようと、マグダラのマリアは夜明け前に再度墓に赴きます。すると墓の入口の石が取り除かれていて、急いでペテロたちにそのことを報告します。

② 残された亜麻布(3-10)

知らせを受けたペテロとイエスが愛された弟子(=記者ヨハネ)も墓へと駆けつけます。墓の中にはイエスの体と頭をくるんだ亜麻布が別々に残されているのを彼らは見つけます。しかし、イエスがどこへ移されたのか分からないまま、二人は元の居所に帰ります。

③ 空の墓からの推察

イエスを今も深く慕う思いが彼らを墓へと向かわせました。これらの見分から、誰かが墓を破ってイエスの遺体を持ち出した、との推理が出てきます(13,15)。ただ、わざわざ亜麻布だけを残して持ち去る意図は不明です。他に、どんなことが推察できるでしょうか。

II イエスに会う(11-18)

① 分からないマリア(11-15)

マリアが墓に戻って中をのぞくと、二人の御使いが見えました。「なぜ泣いているのですか」と御使いは問い、彼女は自分の推察と困惑を告げます。さらに人の気配がして、後ろを振り向いてその姿を見、問い掛けられたのに、その方がイエスだとは分かりません。

② 「マリア」「ラボニ」(16-18)

「マリア」-懐かしい響きに、彼女は「ラボニ(=先生)」と返します。記憶や理解の混乱と断絶も、深い人格のふれあいが一気に埋めてつないだ瞬間です。彼女はイエスに問い直して確認もしていませんが、「私は主を見ました」(18)と力強く証言します。

③ 御声が響く

理解・納得できない、自分の意にそぐわない状況の中で、私たちは混乱・困惑し、神を疑い、イエスを見失いやすい者です。その雲霧を吹き払うのが、積み重ねてきた主との交わり、慣れ親しんだ御声・御言です。「今」の関係が「後に悟る」土台・きっかけとなります。

III イエスは生きておられる

① 開かれた墓(1)

死者の遺体を納める墓は石で封じ、死と生を隔てます。死は忌むべき、遠ざけたい類だからです。イエスもそこに葬られましたが、神はイエスをよみがえらせました。開かれた墓はその象徴です。「死は勝利に呑み込まれた」(1コリント 15:54)のです。

② 聖書のことば(9)

聖書はイエスの十字架の死と復活を予め描き、それがここに実現しました。神のことば、神の思いと計画が記され、それは着実に実現します。聖書を知るほどに神の真実を実感できます。そして、理解を超えた不思議さえもやがて実現される方だと信じるに至ります。

③ イエスの御声(16)

聖書を読む、祈ることを、宗教儀式・お勤めと見られがちです。むしろ、イエスとの語らいと交わりのひとときです。人格に触れ、より理解するためには、時間をかけて、回を重ねるしかありません。その積み重ねの中で、イエスの声、思いが響くように必ずなります。

<おわりに> イエスは生きておられ、私にも語り掛け、現れてくださった、という体験が復活のメッセージです。よみがえられた主は、今も生きておられ、私たち一人ひとりに近づき、語り掛け、現れ、助け導いてくださいます。あなたは復活の主にお会いしましたか。(H.M.)